

水面に広がる光と願い―「晋州南江流灯祭り」

国際交流員 金雅英

皆さん、こんにちは。今回は韓国の文化体育観光部が「韓国代表祭り」として指定した、「晋州南江流灯祭り」について紹介したいと思います。

「晋州南江流灯祭り」の始まりは、日本と晋州の歴史に深く関係しています。1592年11月、文禄の役における晋州城の戦いで、朝鮮軍は真っ暗な夜の南江に灯籠（流灯）を浮かべることで、南江を渡って攻めてくる日本軍を阻止しました。この灯籠は、城の外にいる家族に安否を伝えるための通信手段としても使われました。翌年の第2次晋州城の戦いでは、朝鮮を守るために7万人の民・官・軍が亡くなりました。

後に晋州では、亡くなられた人々の霊を慰めるため、地域の祭りの中で南江に灯籠を浮かべるようになりました。現在の「晋州南江流灯祭り」は、この伝統を受け継いだものです。

本年度18回目を迎えるこの祭りは、10月1日(月)から14日(日)まで晋州城と晋州南江周辺で開催されます。会場では、世界名作童話や名画、世界風物、韓国の美などをテーマにした灯籠や創作灯、晋州城の戦いを再現した灯籠が展示されています。また、灯籠を作って浮かべたり、灯籠に願いを書いて取り付けたりする体験、遊覧船に乗って南江に浮かんでいる作品を鑑賞できる体験など、イベントも多数行われています。そのほかにも晋州の無形文化財公演や世界民俗公演、水上花火大会など、見どころ満載です。

南江の水面に浮かぶ数百の美しい光は、夜中の1時まで見ることができます。



韓国の美をテーマにした展示作品



祈願灯籠祭り

人権標語

育てよう
自分の心
やさしさで

太宰府西小学校6年 田村 希乃さん



村上 紀子 (五条区) 新池坊

花材 カラー、デンファレ、リンドウ

季節の生け花

太宰府市華道連盟

つれづれ

太宰府短歌会

あの世から招待状もどく頃
時計の針の歩みチクタク

湯の谷西 正木 ミツエ

叶うなら一度聴きたし枇杷の音を
好みし妣の「湖水渡り」を

東ヶ丘 無相庵 眞理子

椋鳥の群れ飛ぶ映像にヒッチコックの
「鳥」のシーンが甦りくる

五条 大穂 聡子

ひたすらに青さけさの空ただ悲し
原爆の朝の空に似てゐて

筑紫野市 工藤 不二子

電柱のほそき影さへたのみにし
酷暑の真昼のバス停に待つ

春日市 山本 憲一

太宰府句会

持永 眞理子選

一湾の見ゆる霊園夕月夜

星ヶ丘 柴田 慧美子

カルコアへ杖を頼りに厄日かな

青葉台 武富 マサノ

瞬きは吾への呼びかけ星月夜

水城 福永 恵美

婚決めし二人を送る夕月夜

筑紫野市 宮田 良子

夕月夜遠慮がちなる雲走る

大野城市 北 嘉与子

飛梅句会

菅井 久美子選

朝顔の紫紺のひだの深かりし

馬場 野上 コト子

そぞろ歩す擦れ違ふ風秋初め

観世音寺 野田 杉子

初秋の風を素肌に止めたき

筑紫野市 羽野 喜久代

朝顔の群生個々の色をもち

青葉台 平野 香

旅心誘ふ風や窓の秋

大野城市 福岡 とみ子

宝満句会

菅井 久美子選

声別るあしたまたねと秋の暮

大佐野台 金丸 恵子

水引草裏庭に日の回り来し

高雄台 川路 泰子

秋の暮少年一人ボール蹴る

長浦台 徳賀 美智子

人影の去りし浜辺や秋の暮

星ヶ丘 江里口 幸生

野仏や裳裾にまとふ金糸草

青葉台 本山 晴子

都久志てんじん句会

佐々木 甘露子選

炎天や鳥と目のあふ五島灘

福岡市 宮津 英里子

海燃ゆる遠流の島の西日かな

青葉台 彦坂 正字

塵棄場探す酷暑の遺失物

筑紫野市 眞金 志帆

ポニーテール脱皮の如く藍浴衣

湯の谷西 矢野 杏子

台風の去りて火星に盃を

筑紫野市 津和崎 幸枝

太宰府川柳倶楽部

小池 一恵選

雪辱に燃える男の太い眉

星ヶ丘 武末 次生

遅刻して座りここの悪い席

国分 岸本 しずえ

鳥の声うつとりと聞く鄙の宿

国分 八尋 道信

親の背にけじめを見せて子の驥

筑紫野市 吉田 敬子

気温ほど上らぬ景気どう凌ぐ

春日市 大塚 茂